

## 2018ひろしま避難者の会「アスチカ」会員情報のまとめとアンケート

2018.3.8

ひろしま避難者の会「アスチカ」

### 【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには113世帯348名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

	世帯数(人数)	%
岩手	6 (16)	4.4
宮城	29 (56)	21.5
福島	69 (183)	51.1
その他(関東地方など)	31 (73)	19.6
計	135 (328)	

2018年2月28日

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

	世帯数(人数)	%
岩手県	1 (1)	0.9%
宮城県	9 (30)	8.0%
福島県	51 (158)	45.1%
関東地方	52 (159)	46.0%
計	113 (348)	

2018年2月28日

世帯数は昨年から微増。このうち3世帯がこの1年間の新規入会世帯。3世帯とも、他の避難地からの移動。アスチカ設立当初、福島県からの避難者の割合は6割でしたが、今回初めて福島県からの避難している会員数を関東から避難している会員数が上回りました。

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	14	12.4%
大人のみ	15	13.3%
大人+子ども世帯	84	74.3%
(うち母子世帯)	17	15.0%

割合は昨年とほぼ変わらない。今年度は震災当時小学6年生だった子どもが、高校を卒業し、震災当時生まれたばかりの赤ちゃんが小学校に入学した1年でした。

**アスチカ会員アンケート結果 回収数 49世帯／113世帯(回収率 43.4%)**

**Q1 全国避難者登録システムに登録されていますか？**

	回答数	%
登録している	30	61.2
登録していない	16	32.7
分からない・無回答	3	6.1

**登録していない理由 (複数回答あり)**

	回答数	%
システムを知らない	2	12.5
登録するメリットを感じない	1	6.3
登録する対象でないと思っている	7	43.8
申請が手間	0	0.0
その他	5	31.3
無回答	1	

**Q2 住民票は異動しましたか？**

(その他)・必要性を感じずにきてしまった。

	回答数	%
異動した	44	89.8
異動していない	3	6.1
無回答	1	2.0
その他	1	2.0

(その他) 進学のため、一部異動

**異動した理由 (複数回答あり)**

	回答数	%
移住だから	22	50.0
今、住んでいる場所だから	8	18.2
避難先へ納税	2	4.5
仕事の都合	3	6.8
子どもの保育園や学校の都合	10	22.7
公営住宅入居のため	1	2.3
その他	1	2.3

**異動しない理由 (複数回答あり)**

	回答数	%
不都合がない	1	33.3
家族のつながり	1	33.3
避難元の子どもの医療費支援が充実	2	66.7
福島県県民健康調査などの健康管理の維持	1	33.3
避難元への愛着	0	0.0
復興住宅への入居意向のため	0	0.0
その他	0	0.0

### Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震による家屋の消失・損壊	6	12.2
津波による家屋の消失・損壊	1	2.0
原発事故による強制避難	3	6.1
原発事故による健康影響(含、不安)	43	87.8
仕事がなくなった	1	2.0
精神的ストレス	19	38.8
余震への不安	16	32.7
原発事故悪化への不安	26	53.1
その他	2	4.1

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、土地柄もあり、原発事故への関心も高く持っていただいています。

しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいます。そういう方がいることも知っていただけると嬉しいです。

(その他・自由記入)

- ・津波被害地区のそばで、粉塵・匂いがひどかった。
- ・仕事のために福島県内に移住したが、原発事故でできなくなったため

### Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震等自然災害が少ない	11	22.4
被災地から遠い	16	32.7
自然に恵まれている	8	16.3
被爆地であることへの期待	9	18.4
生活が便利	7	14.3
家族・親族がいる	21	42.9
友人・知人がいる	8	16.3
知っている避難者がいる	0	0.0
たまたま仕事が見つかった	10	20.4
以前住んだことがある	6	12.2
西の食材が手に入りやすい	13	26.5
一時避難・保養に来た縁	1	2.0
避難者への支援がある	2	4.1
その他	4	8.2

(その他・自由記入)

- ・夫が仕事を移せたのが広島だったから。
- ・なにがしかの仕事が見つかるかもしれないという期待
- ・たまたま良い物件(農地)を持っていた知人がいたため。

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多め。数年たって避難してきた会員は仕事など、環境を整えてから移動してきた人が多い。「被災地から遠い」「西の食材が手に入りやすい」という選択が多いのは原発事故での避難者が多いから。

## Q5 現在お住まいの住宅は？

### 【住宅支援を受けている方】

	回答数	%
県営住宅	0	0.0
市・町営住宅	1	2.0
ビレッジハウス (旧雇用促進住宅)	1	2.0
民間借り上げ住宅	0	0.0
その他	1	2.0

### 【住宅支援を受けていない方】

	回答数	%
県営住宅	2	4.1
市・町営住宅	3	6.1
ビレッジハウス (旧雇用促進住宅)	2	4.1
民間賃貸住宅	21	42.9
実家、親戚宅	4	8.2
持ち家	10	20.4
その他	1	2.0
無回答	3	6.1

## Q6 お住まいでのお悩みはありますか？

- ・修繕、維持費がかかる。
- ・経済的余裕がなく、なかなか整った家を借りることができていない。どこか補修の必要があるまま住んでいる。
- ・中古物件を探しているが、条件に合うところがなかなか見つからない。
- ・己斐断層の真上だった様子でとても気になります。
- ・生きているうちにローンの支払いを終われるかどうか？いつ破綻するか不安。
- ・家賃が高い。
- ・古くて、カビ等の衛生面が気になる。
- ・偶然ではあるが、賃貸住宅の管理元がどんどん変わり、退去時の修繕費等、契約内容が引き継がれているのかわかる人がいないこと。
- ・子どもが大きくなり、収入があれば今までの家賃では住めないかも。かといって家購入の資金もない。
- ・家主都合で転居が必要になったら、次の物件が契約できるのか。失業により家賃支払いが不可能になったときどうするか。

## Q7 現在ある公的支援(住宅支援、高速代無料<福島県母子避難者向け>、避難元情報の送付等)で改善を望む点がありますか？

- ・いただけていない分の住宅支援をいただきたい。
- ・2017年まであった借上げ住宅の制度を復活させてほしい。
- ・福島の子どもの健康状態を知りたい。
- ・関東圏にも支援を。
- ・公的支援は訴えても届かないし、避難元情報はよいことしか書いてない。期待もないし、改善もできないと思う。

Q8 公的なもの、民間のものに関わらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・定住促進の施策（金銭、コミュニティの受け入れ体制整備）
- ・移住支援（すぐに住める物件）と病院の体制（理解のある医師の確保）、学校の理解（給食）
- ・学費がかかる子どもがいる世帯に対し、住宅支援の継続を望みます。
- ・空き家バンクの充実。空き家のマッチング。
- ・交通費補助が出ると、本当に助かります。
- ・ここ数年、生活再建に取り組み、疲弊している人への精神的サポート
- ・福島にある自宅空き家の管理。
- ・安くて清潔なアパートを紹介してほしい。
- ・知人や地域の方の支援で現在生活できているが、原発事故のせいでの移住なのに公的な支援や賠償を受けられていない。

Q9 生活費を支えているものは何ですか？

（家族で避難されている世帯）

（複数回答あり）

	回答数
世帯主の収入	30
配偶者の収入	9
預貯金	6
年金	6
賠償金	0
精神的慰謝料	0
生活保護	0
失業給付	0
その他	0

（単身・母子等家族の一部で避難されている世帯）

（複数回答あり）

	回答数
ご本人の収入	10
家族からの仕送り	8
預貯金	1
年金	2
賠償金	0
精神的慰謝料	0
生活保護	0
失業給付	0
その他	0

Q10 生活費・収入は十分ですか？

	回答数	%
十分	6	12.2
まあ満足	20	40.8
苦しい	18	36.7
無回答・その他	5	10.2

（その他）

- ・苦しくはないが不満

世間一般的にも家計が苦しくなっている傾向の中、さらに避難による経済的負担もあり、厳しさを感じている世帯は多い。「まあ満足」も「楽ではないが、このぐらいいでもよしとしなければ」という意味合いも強い。

昨年3月で住宅支援が終了した世帯は家賃負担が発生している。

## Q11 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・子どもの成長とともに、子どもにかかるお金が増え、今後もっとその割合が増えることに不安を感じる。
- ・家賃負担が大きい。
- ・夫の収入だけでは生活が厳しいので、主婦である私が働きに出たい（出るときもある）が、子どもがいるので、祖父母がそばにいないことと大きなお休みに帰省するので、大した仕事ができない。夫が土日休みではないので、平日昼しか働けない。
- ・夫婦で少しずつ働いています。おかげで我が家の目標収入を毎月越しています。
- ・賠償金はいただいたが、毎月の収入が避難以前よりも減っているのが不安である。
- ・光熱費が以前いたところの倍になり、高いと感じる。
- ・二重生活は苦しい
- ・充分とは言わないまでも、一応生活が成り立ち、税金を払ったりもできているので満足です。
- ・子どももまだお金のかかる時期なので、定職が見つからないとやっぱり大変。
- ・「官製ワーキングプア」なので、Max200 万円程度の年収で定年を迎え、退職金等その他の収入が全くないので、老後の生活費の見通しが全くない。

## Q12 お仕事面でのお悩みはありますか？

- ・避難元で積み上げていた人間関係や経験を活かせてないことは残念です。
- ・夫は無理を言って転勤させてもらったので、職場では苦勞しているようです。
- ・自営の仕事で、依頼数が増えるとよいなあと思います。
- ・おかげ様でよい職場に恵まれて、楽しく働いています。
- ・再度転職するには年齢が厳しい気がします（ニーズが少ない）。
- ・避難元での勤めよりやりがいがない仕事をしていること。条件の良い仕事は通勤に時間がかかるため、現時点では転職は難しい。
- ・体調が悪く、仕事が続かない。
- ・本人たちが健康でなくては（自営の仕事は）できないので、気を付けようと思っています。
- ・主人の仕事が国内では大都市にしかないこと（単身赴任中）。
- ・避難という状況で、面接時に長く勤務できないと思われる。
- ・体と相談しながら仕事しています。
- ・同一価値同一賃金になる見込みがない。
- ・農地の条件が悪く、効率が上がらない。

## Q13 ご家族の中で健康に不安のある方はいらっしゃいますか？

	回答数	%
はい	22	44.9
いいえ	23	46.9
無回答	4	8.2

Q14 今後のご予定は決まっていますか？

	回答数	%
今住んでいる自治体へ定住	26	53.1
避難元ではないところへ移動	1	2.0
近いうちに避難元へ戻る	0	0.0
いずれ避難元へ戻る	3	6.1
決めていない	15	30.6
上記に当てはまらない	1	2.0
無回答	3	6.1

割合としては「定住」が増加。  
「決めていない」は変わらず。

(今住んでいる自治体に定住する。)

- ・人も自然もよい。この街が好き
- ・便利が良い。
- ・仕事があるから。
- ・放射能（放射性物質）のあるところに戻りたくない。
- ・持ち家がある。
- ・元々地元が広島なので
- ・子どもたちに友人ができた
- ・避難元に帰っても家がない。
- ・移動する方が経済的、精神的リスクが大きいと考えるので。
- ・定住のつもりで新築を購入したから。

(いずれ避難元へ戻る)

- ・父が亡くなり、母が一人で住んでいるし、主人の仕事も避難元から動きそうにないから。
- ・避難元の子どもの健康被害がなければ戻るつもり。甲状腺がんの子が出ていますが…よくわかりません。
- ・子どもの進路に合わせて。

(決めていない)

- ・子どもたちの進学先と仕事の点で今現在はこの場の定住を考えています。
- ・その時最善の場所に住みたいと思います。
- ・考えたくない
- ・今後のライフプランが未定だから。
- ・夫のところに帰るかもしれないから。
- ・子どもが高校まではこちらにいたい。その後どうするかはその時に決める。
- ・親の状況次第
- ・帰りたい気持ち強いが、汚染が怖い。またこっちで原発事故があったら他へ移動する。

(上記には当てはまらない)

- ・仕事先の変更があれば、国内外問わず移動予定。

Q15 今、大変なこと、つらいことは何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
仕事が見つからない	3	6.1
仕事にやりがいを感じない	1	2.0
生活費が足りない	14	28.6
支援が縮小していくこと	6	12.2
避難指示が解除されたこと	1	2.0
避難指示が解除されそうなこと	0	0.0
体調不良	10	20.4
忙しすぎる・自分の時間がないこと	10	20.4
親の介護	4	8.2
育児	5	10.2
子どもの教育・進路	15	30.6
家族バラバラに暮らしていること	11	22.4
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	18	36.7
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	5	10.2
家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)	2	4.1
家族間の意見の不一致(自分と親)	5	10.2
家族間の意見の不一致(自分と子ども)	1	2.0
避難元が復興しないこと	2	4.1
避難元の復興が望む形と違うこと	5	10.2
避難元に帰れないこと	5	10.2
今住む地域に親しい友人がいないこと	7	14.3
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	15	30.6
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じる	21	42.9
原発が再稼働されたこと	20	40.8
避難先の人たちと意識の差を感じる	14	28.6
避難への無理解	12	24.5
特にない	1	2.0
その他	4	8.2

- ・メディアは3/11が近くなると報道するのみ。定期的に報道するべき。
- ・避難者として周囲に福島のことを伝える活動をしたい思いと、自分はできていないと感じる(責める)心境。
- ・今の政治。
- ・友人が出来づらい。
- ・子どもが不登校になった。

「震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じる」が最多。「原発再稼働」が続く。その2つは割合も伸ばしている。世間の認識と自分の感じていることのギャップは精神的な“苦しさ”を生む。子どもの成長に伴い「子どもの教育・進路」も増えた。「避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと」「避難元の友人と疎遠になったこと」も以前高く、微増している。



Q16 今後、どんなことに不安がありますか？

(複数回答あり)

	回答数	%
避難先の生活が安定するか	10	20.4
自分の健康が保てるか	21	42.9
家族の健康が保てるか	19	38.8
避難し続けられるか	7	14.3
公的支援がいつまで続くか	4	8.2
避難指示が解除されること	0	0.0
子どもをしっかり育てられるか	12	24.5
子どもの教育・進路	12	24.5
家族と一緒に暮らせるか	6	12.2
夫婦の関係が悪化しないか	2	4.1
避難元の親・親族との関係、付き合い	10	20.4
避難元へ帰れるか	1	2.0
避難元へ帰らなければいけないこと	0	0.0
避難元へ帰った時に孤立しないか	1	2.0
避難元にいる親の老後・介護	18	36.7
特になし	3	6.1
その他	7	14.3

- ・原発事故の被害が小さいもののように扱われ、各地で原発の再稼働が目指されていること。
- ・子育てが終わったら避難元に戻ろうと思っているが、戻ってもすでに友達とは疎遠になってしまっているし、仕事もそのころ見つからないだろうし、孤独になることが目に見えていて不安です。
- ・今、避難元にいる家族や体調が悪い人が多いが、なかなか世話やお見舞いに行けないこと。
- ・原発事故のことが過小評価され、避難や保養の有用性、必要性がどんどん薄れて行くのではないかということ。(過去のことになること)
- ・県民健康調査の縮小
- ・この6年で避難元の母・祖母と死別してしまいました。距離があるので間に合いませんでした。
- ・将来への不安。原発事故後の放射性物質の処理方法が閉じ込めることに重点が置かれていないこと。燃やしたり、再利用したり、何のための除染なのか理解できない政策ばかりなこと。
- ・大きな地震が来そう。
- ・家計が破綻しそう。
- ・夫とも別れて母子になった。子どもの今後には常に不安はあるけれど、自分がぶれずにしっかり頑張っ楽しんでいれば大丈夫じゃないかと思っている。
- ・二重生活が経済的に続くかどうか。

大きな傾向は変わらない。「親の老後」「避難元の親族との付き合い」が増えている。長い時間が経過しているからこそそのものだと思う。

Q17 震災から間もなく7年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数回答あり)

	回答数	%
気持ちが穏やかになってきた	9	18.4
あきらめのような気持ちが強くなった	16	32.7
生活が安定してきた	13	26.5
楽しいことをしようという気持ちになってきた	14	28.6
無気力になってきた	0	0.0
前向きな気持ちになってきた	10	20.4
将来への不安が強くなった	5	10.2
広島に定住する気持ちが固まった	7	14.3
避難元へ帰りたい気持ちが強くなった	5	10.2
怒りが強くなった	1	2.0
変化はない	6	12.2
その他	6	12.2

(その他)

- ・戻りたいとか戻らなくちゃという気持ちが薄れてきて、あきらめの気持ちが強くなってきた。考えても仕方ないという感じです。
- ・3年間の母子避難の後、家族で暮らせるようになって、前よりは生活は安定してきました。前より、避難者だという意識は薄くなりました。でも、安定したわけではないので、将来は不安です。子どもの学校のことも心配です。
- ・果樹が育って実が穫れ出した。
- ・淡々と暮らしているカンジがする。
- ・できるだけ長く広島にいたい。いずれはもどらなくてははいけなくなる福島。その時は被曝覚悟で戻らなくてはならない。
- ・国内の政治面、経済面に危機感がある。
- ・移住6~7年くらいになってきて、知人や友達もやっとできてきた。その人たちすべてに支えてもらっているので感謝しかない。
- ・今後について、子どもと父親との意見の違いが出てきた。

Q18 自分を「避難者である」と言うことに抵抗はありますか？

	回答数	%
とても抵抗がある	4	8.2
少し抵抗がある	17	34.7
あまり抵抗はない	12	24.5
全く抵抗はない	14	28.6
無回答	2	4.1

(とても抵抗がある)

- ・同じ職場で3.11に亡くなった方と生きている自分。この差は未だに受け入れられないので。
- ・非難されたことがあるので。

(少し抵抗がある)

- ・もう一時的な状態ではないから
- ・震災から7年が経ち、その間、ほかの地域でも様々な災害等があつて、自分たちだけが避難者ではないように思うようになった。
- ・広島へは移住なので。ただ、そうであったことを言った際に“かわいそう”と思われることには抵抗がある。
- ・広島は話す和理解してくれる人もいるが、どう返答していいかわからず固まってしまう人もいる。
- ・福島ではなく関東であるため、周囲に理解されない点。
- ・いろいろな人がいるので、人を見て言ったり言わなかったりしている。
- ・年々言いにくくなっている。あえて言っていこうと思う。

(あまり抵抗はない)

- ・機会があれば話したい。福島じゃなく、関東からも避難してきていることを知ってほしい。その反面、子どもの将来を考えると避難者だと広く知られると影響がないか心配。
- ・特に気にしていない。
- ・3.11を忘れないため
- ・今は言う必要がないと思っています。一部の人が、私自身避難者であることを前から知っており、いつも通りに接しています。

(全く抵抗はない)

- ・事実だから。相手がどう受け止めようと関係ないから。
- ・どうして避難することになったのか訴えていきたいから。
- ・そういう人がいるということを知ってほしいので。
- ・帰れるものなら帰りたいと思うし、「避難者です」と胸を張って言うことはないけど、聞かれたら答える。
- ・隠す必要はないと思っているし、多くの人に知ってもらいたい(原発のことなど)。

#### Q19 今、楽しいこと、楽しみにしていることはありますか？

	回答数	%
はい	30	61.2
いいえ	8	16.3
無回答	11	22.4

カープやサンフレの応援／広島のスウルフードを味わうこと／地元での様々な活動／子どもの成長／避難元に帰省して、友人や新たに出会った人達と時を過ごすこと／前にいた所の避難者同士で会ったりすること／仕事／孫との会話／趣味を再開したこと／農的な暮らし／地域づくり活動・子どものやっているスポーツの付き添い／家族でのキャンプ／家族とのちょっとした外出、旅行／あまり機会はないが、映画や音楽を鑑賞しに行くこと等／休日に下の子と遊ぶこと／韓国ドラマの鑑賞／広島(西日本)に来たば

かりで、初めて住む場所ということもあり、どこへ行っても新鮮な気持ちで楽しめます／実家が近くなったので度々遊びに行けること／子どもの習い事で成長、元気で頑張っている姿を見られること／カープ3連覇！／年に1, 2回1人旅へ行くこと／帰省／子どもたちと外で遊べていること／友人が増えてきたこと

## Q20 交流カフェについて

① 参加したことはありますか？

	回答数	%
はい	35	71.4
いいえ	10	20.4
無回答	4	8.2

② 今後も必要だと思いますか？

	回答数	%
必要	35	71.4
不要	2	4.1
分からない	4	8.2
その他	8	16.3

## Q21 アスチカに求めているもの、会員でいることの理由は何ですか？

(複数回答あり)

	世帯数	%
他の避難者と知り合うため	14	28.6
避難者同士のつながり(交流会などには出ずとも)	27	55.1
アスチカニュースなどが届くこと	23	46.9
ご招待、支援物資などの情報獲得	8	16.3
公的支援の情報獲得	13	26.5
さまざまな催しの情報獲得	12	24.5
避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする)	8	16.3
困った時の相談場所として	18	36.7
精神的支え	15	30.6
避難者同士の情報交換のため	21	42.9
その他	2	4.1

(その他)

- ・入ってくる情報がなくなるのは大変不安です。
- ・子へもルーツを学ばせてやりたい。公教育では原発事故を学ぶ機会はない。他の避難者(子)と出会う中でルーツを知り、自尊心を高めてほしい。

Q22 ①広島の中で生活をゆるせたり、頼り合ったりできる人とのつながりはできましたか？

	回答数	%
はい	39	79.6
いいえ	5	10.2
無回答	5	10.2

②(①「はい」の方)それはアスチカがなくとも成り立つものになっていますか？

	世帯数	%
はい	31	79.5
いいえ	3	7.7
無回答	5	12.8

③(①「いいえ」の方)それはなぜですか？

	回答数	%
出会いがない	2	40.0
時間がない	1	20.0
出会う場に行っても見つからない	1	20.0
必要としていない	0	0.0
その他	1	20.0

(その他)

・少し前まで、こちらで知り合った友人がいたが、だんだん生活の違い、考え方の違いから疎遠になってきてしまった。

・この歳になって心を許せる友達とか頼れる友達を作るのは困難。うわべだけの話ならするけど、避難元にいたときのような「友達」はなかなか作れない。

Q23 避難先での生活の中で、不足していると思うことはありますか？(「あと、これが揃えば(得られれば)、ある程度満たされた状態・気持ちで過ごせる」と思うもの)

	回答数	%
ある	19	38.8
ない	19	38.8
無回答	11	22.4

自分たちが望むような住宅／家族のつながり／心が許せる友人がほしい／昔の友人との交流／北部は西日本の食材が少ない／避難者である自分を堂々と表す自己表現手段の確立／生活全般／就職／ある…とも、ない…とも言えない複雑な心境／自分のいられる空間／時間とお金／主人(がこちらにいること)／地域の支え合い／もう少しまともな政治

## 避難元別アンケート

※岩手県から避難している方:回答なし

【宮城県から避難している方】(回答数:3)

問 a 避難者であることで嫌な思いをされましたか？

	回答数
はい	2
いいえ	1

【福島県から避難している方】(回答数:26)

問b 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめをうけたことはありますか？

	回答数	%
はい	2	7.7
いいえ	23	88.5
無回答	1	3.8

問c 福島県に言いたいことはありますか？

- ・福島に住み続けている人たちの健康、特に子供たちの健康を本当に考えていますか？行政が本当に住民の立場に立った活動をして守ってほしいと思います。
- ・情報提供だけでなく、心のケアが必要な人に対して、働きかけが必要。自治体職員も大変だとは思いますが…。
- ・震災と事故の被害を、それぞれに分けて現状までの判断をして、県民それぞれの選択を認める支援(対応)を考え、県として、国へ進言することをあきらめないでください。
- ・現状発信していること(発信の仕方)は「原発事故が起きても何とかなる」という認識を世間に持たせることにつながらないか？それでいいのか？それは未来のために正しいことなのかと思う。
- ・今だけお金が欲しい政策でなく、50年後、100年後を考えた政策をしてほしい。
- ・除染のお金をもっと別のことに、有効に使ってください。
- ・何を言っても県外避難者は相手にしてもらえない。話すら聞いてもらえないのに、何も言うことはない。
- ・福島からの避難者へのサポートを県として平等に作るべきでは？

【関東圏から避難している方】(回答数:19)

問d 避難者であると周りの方に伝えてありますか？

	回答数	%
常に伝えている	4	21.1
一部の人にだけ伝えている	7	36.8
以前は伝えていたが、今は伝えていない	5	26.3
以前は伝えていなかったが、今は伝えている	0	0.0
以前も今も伝えていない	2	10.5
無回答	1	5.3

問e 避難者であると伝えたことで嫌な思いをされましたか？

	回答数	%
はい	7	36.8
いいえ	10	52.6
その他	0	0.0
無回答	2	10.5

- ・「被ばくしているのではないかと見られてはかわいそうだ」と言われたこと。
- ・関東圏や食材が危険という話を嘲笑されたことがある。
- ・奇異な目で見られる。
- ・ねずみ講の勧誘を受ける（放射能にもいい商品があるのよ！とのこと。）

問f 今、望むことは何ですか？

	回答数	%
関東圏からの避難への理解	10	52.6
支援範囲の拡大	5	26.3
住宅確保サポート	1	5.3
就職サポート	1	5.3
関東圏から避難している人との交流	6	31.6
その他	1	5.26

(その他)

- ・原発事故を過去のものだと思ってほしくない。
- ・理解してもらえることは少ないが、伝えることは大事だと思っている。

問g 避難元自治体に言いたいことはありますか？

- ・原発事故のことを忘れないでほしい。なかったことにしないでほしい。
- ・子どもたちの活動範囲、高さに合わせて空間放射線量を測ってほしい。
- ・土壌調査等はずっと継続して、子どもの健康等に配慮してほしい。